

業種別景況予測

2025年10月～12月

						
	特に好調	好 調	まあまあ	やや不振	不 振	きわめて不振
部 会	7～9月 (実績)	10～12月 (見通し)	概 況			
寝 装 リ ピ ン グ			「サプライチェーンの寸断がもう目の前にきている。(紡毛糸製造業)」「まだまだ厳しい状況が続いている。(毛布製造業)」などのコメントが寄せられたが、売上見通しにおいて、前年同時期に比して「増」の見通しが「減」を上回り、そのポイントから「好調」と分類されたが、実際はかなり厳しい状況が続いている。			
織 維 ファッショ ン			「コロナ禍で生産量が減少した時より悪い状況。(毛織物業)」「繊維業界は非常に悪い。実質賃金の低下や、長引く夏の影響で、秋冬物商戦の時期が遅れていることが原因。(染色整理業)」「猛暑の影響と長い夏、そして短い冬で2シーズンになっている。(ニット卸売業)」とのコメントが寄せられた。			
工 業			「人件費、輸送費、副資材設備のコスト上昇分に対応するため加工費の引き上げを急務としている。(工業用部品製造業)」「自動車産業を中心に好況が続いているが原材料高騰、人件費高騰があり決して景気が良い状況とは言えない。(自動車整備業)」「主要顧客の工事時期の変更に伴い人材不足による受注済み案件の失注、異常な下請け単価の上昇により転嫁不可。(機械器具設置修理業)」とのコメントが寄せられた。			
建 設			「施工単価は上がらないが原材料仕入価格は倍近くになっている。(防水塗装工事業)」「見積りの見込み物件はあるが実際現場が進まない。(電気工事業)」「人材不足。特に若手人材の確保が厳しい。(警備業)」など、仕入価格の高騰や人材不足に関するコメントが寄せられた。			
運 輸 倉 庫			「材料代や軽油、車両代金が上昇、荷物の動きも悪化。(運送業)」「売上の的には少しの減少だが、色々な物の物価高の影響で収益が激減、資金繰りが悪化傾向。(運送業)」「商品動向が低調。(倉庫業)」など、先行きに対する不安のコメントが寄せられた。			
金 融 理 財			「契約が増え、上向き傾向。(生命保険会社)」「運送業、建設業が特に悪況、悪化傾向にある。(金融業)」「顧客の廃業が増えている。従来の事業形態での事業承継は厳しくなっている。(土業)」などのコメントが寄せられた。			
一 般 商 業			「人件費・材料費が上昇しているものの、消費の冷え込みの不安から価格転嫁ができていない状況。(菓子製造小売業)」「祭需要で忙しかった。仕入れ価格は上がっているが売値に反映できないため、収益は悪化傾向。(精肉販売業)」「気候に左右される商品を取扱いしているため仕入れのタイミングが難しい。(青果販売業)」などのコメントが寄せられた。			
サービス商業			「仕入価格の上昇が止まらず薄利の状況がより深刻。(飲食業)」「大阪関西万博が終了するも、バス代金やホテル代金は高騰。(旅行業)」「マイナンバーやITへの転換により、廃業する人が増えている。(医療業)」「年々留学希望者は各国増加傾向。(教育業)」などのコメントが寄せられた。			

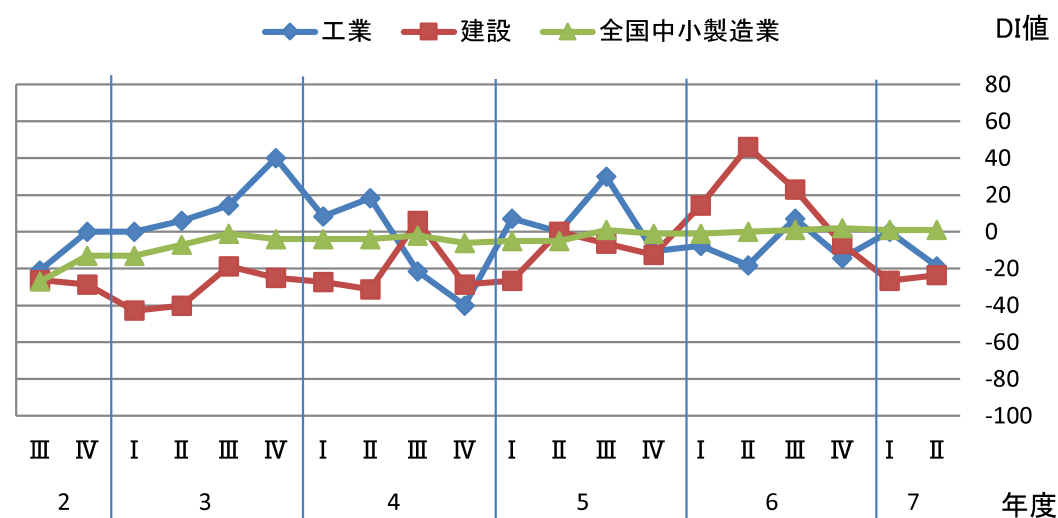
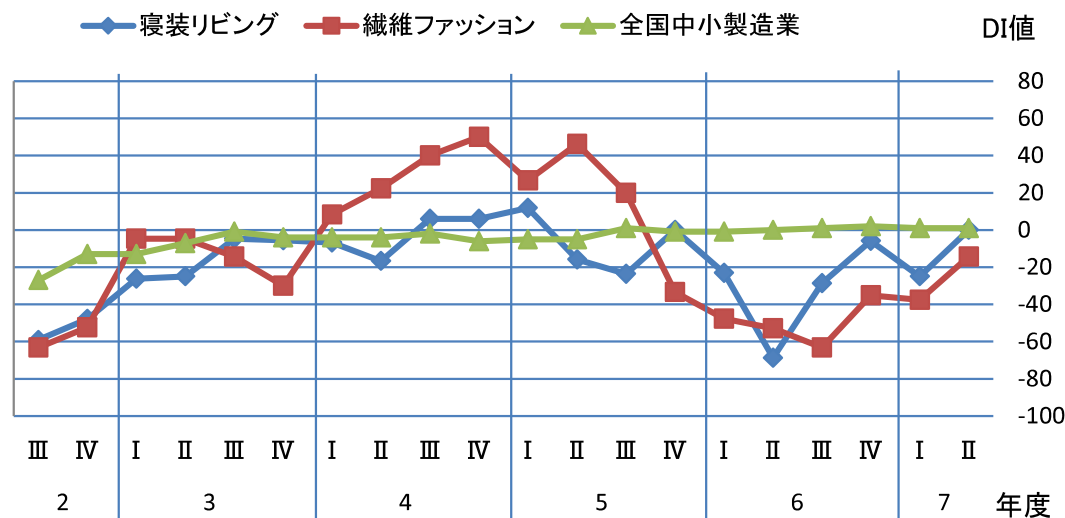
(調査概要) ●調査実施 令和7年10月 ●調査対象企業 277社 ●回答数 127社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 業務課 TEL 0725-23-1111

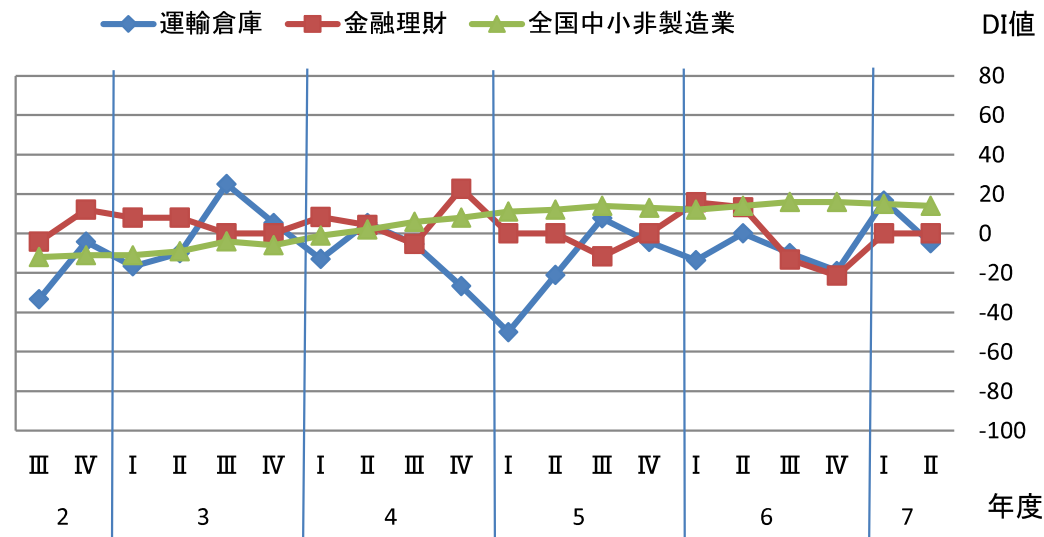
前年同期と比較

泉大津の全産業のDI値は、前年同期に比べやや悪化。業種別にみると、寝装リビング業・金融理財業は横ばい、繊維ファッション業・運輸倉庫業はやや悪化、工業・建設業・一般商業は悪化、サービス商業はきわめて悪化となったが、個別差がある。



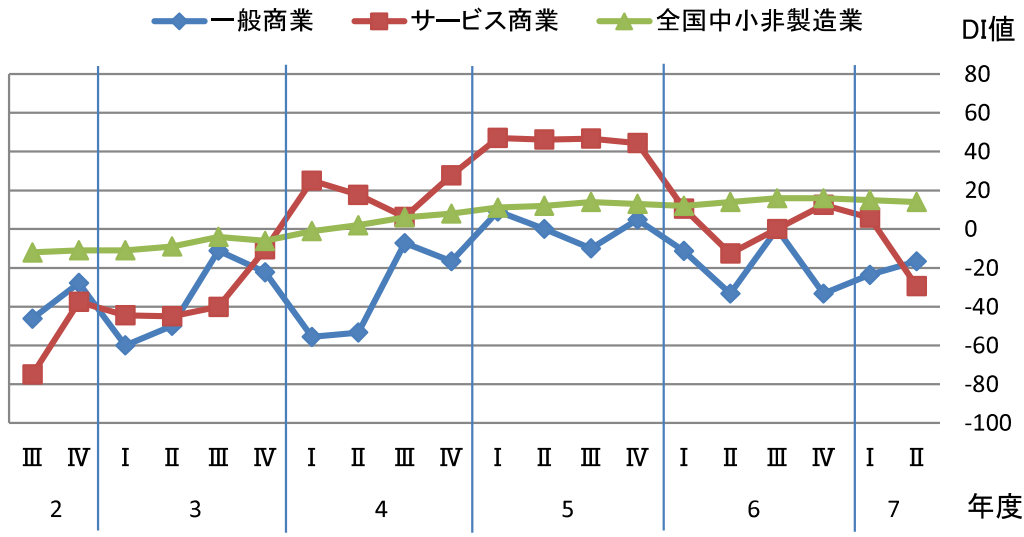
前年同期と比較

売上高について寝装リビング業・繊維ファッション業ともに売上は少し伸びるが、収益はやや悪化、何れも、製品の動きが鈍く、生産が減少となっている。



前年同期と比較

売上高について、建設業は大きく変わりはないが、工業は減少傾向。何れも、仕入価格・加工単価の上昇が止まらず、収益が悪化となった。建設業の人手不足が問題。



前年同期と比較

売上については、両業種と横ばい。運輸倉庫業は、経費の上昇により収益は悪化傾向。引き続き運転手の確保が困難で、今後の売上への影響が懸念される。

前年同期と比較

売上については、両業種とも悪化傾向。不景気の影響を受け消費者の動きも鈍くなるなど、収益は悪化傾向にある。

※DI値：売上状況の回答（増加－減少＝DI値）

※R2・3 新型コロナウイルス感染症拡大

I＝第一四半期（4～6月）

II＝第二四半期（7～9月）

III＝第三四半期（10～12月）

IV＝第四四半期（翌年1～3月）

⑨ 全国中小製造業・非製造業は前期と比較しています。